



▲いかりそう(めぎ科)

葉柄の先が3枝に分かれ、それぞれの枝の先に3小葉がつくので三枝九葉草という名もある。花の色は淡紅色で花弁の先は長い距となって蜜を入れ、舟のいかりの形に見える。日本海側には花の白いもの、淡黄色のものがある。

花期 4~5月

草たけ 15~25cm

生育地 山のこかげ、林のへり

淡黄色の
いかりそう ▶



○複葉(ふくよう)

一つの葉が切れこんで、複数の小葉をもつ葉。葉脈の分岐回数によって種類がある。

○おしべとめしべを多数もっている花は、バラ科、キンポウゲ科の仲間によくみられる。

◀かざぐるま
(きんぽうげ科)

葉は対生で、長い葉柄があり、3小葉からなる。花は白か淡紫色で、花弁のように見えるのはがくである。

花期 4~5月

草たけ つる性の半低木

生育地 林のへり、山野



春